



西前小だより



横浜市立西前小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nishimae/>



「おはよう ございます」
～ 相手を大切にしたいさつ ～

校長 末松 隆一郎

新年度が始まって一ヶ月が過ぎようとしています。町のあちこちで、こいのぼりが気持ちよさそうに泳ぐ姿も目にする頃となりました。朝登校してくる子ども達の元気な声と笑顔も、少しひんやりとする朝の空気にこだましています。一年生の子達も、すっかり学校生活に慣れてきたようです。

「おはようございます」一日の始まりに交わす、とても大切な言葉です。一秒ほどの短い言葉ですが、それを交わしただけで、その日一日のエネルギーが蓄えられるような、素敵な言葉ですね。ところで、あいさつには、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」などがありますが、「おはよう」だけには、相手を大切にしたい意味がある敬語の「ございます」が付いています。どうして「おはよう」だけに、「ございます」を付けるようになったのでしょうか。

一説によると、それは「歌舞伎」から来ていると言われています。「歌舞伎」は、約400年位前から始まった伝統芸能で、派手な衣装やお化粧が特徴です。そのため、歌舞伎の役者さん達は準備にとても時間がかかり、かなり早めに楽屋に入っていたそうです。その際「楽屋番」と呼ばれる裏方さんが、この役者さん達に対していつも「お早うございますね。」と声を掛けていました。これは、「まだ出番までは時間があるのに、お早いお着きでございますね。ご苦労様でございます。」という意味です。



元々この言葉には、「あいさつ」というよりも、相手に対する「心遣い」の気持ちが含まれていたようです。そして、この「お早うございますね。」がいつしか「おはようございます」に変化したものとも言われています。

「おはようございます。今日も元気に会えてよかったね。学校にこれよかったね。」

「おはようございます」を、「相手のことを大切に思う」あいさつとして、思いやりの気持ちを込めて子ども達と、そして皆様と大切に交わしていきたいと思えます。

◇25000アクセス突破◇

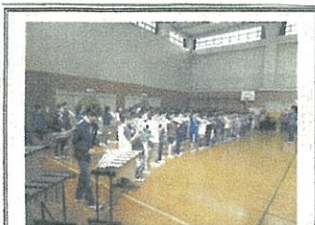
西前小学校のホームページのアクセス数が、お陰様で4月に25000アクセスを越えました。これからも旬な学校の様子を発信していきたいと思えます。

「Nishimae Diary 2014」⇒

より抜粋

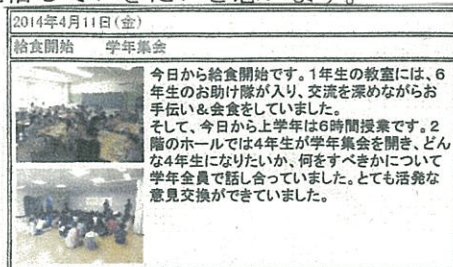
「◇校長室より◇」

より抜粋 ↓



2014年4月17日(木)

最高学年としての誇りと自信 一年生を迎える会
1年生を迎える会がありました。2年生以上の子どもたちがとても楽しくあたたかく1年生を歓迎してくれました。
リーダーズ委員会の6年生は、新年度スタートと同時に、この会の計画、そして今日の運営をとてもがんばってくれました。私は勇気を担当する子たちのそばにいました。やる気と緊張感がヒシヒシと伝わってきました。そして、スクールバンドの演奏は、本当に素晴らしいものでした。「宇宙戦艦ヤマト」の力強い調に乗って、6年生の、最高学年としての誇りと自信が体育館を席巻していました。
6年生の、そして西前小学校の素晴らしいスタートを感じました。

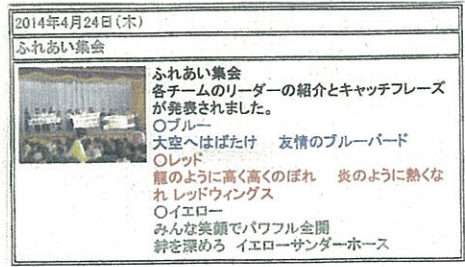


2014年4月11日(金)
給食開始 学年集会
今日から給食開始です。1年生の教室には、6年生のお助け隊が入り、交流を深めながらお手伝い&会食をしていました。
そして、今日から上学年は6時間授業です。2階のホールでは4年生が学年集会を開き、どんな4年生になりたいか、何をすべきかについて学年全員で話し合っていました。とても活発な意見交換ができていました。



2014年4月18日(金)

PTA各種委員会開催
今日は和室にて、PTAの各種委員会が開催されました。PTA会長様からご挨拶、そして今年度役員のご紹介、そして、職員も各担当委員会ごとに集まり自己紹介と、
新年度のスタートを飾りました。みんなで力を合わせ、笑顔でがんばっていければと思います。昨年度の各委員の皆様、本日までありがとうございました。会長、役員はじめ、今年度各委員の皆様、よろしくお願ひします。



2014年4月24日(木)
ふれあい集会
ふれあい集会
各チームのリーダーの紹介とキャッチフレーズが発表されました。
○ブルー
大空へはばたけ 友情のブルーバード
○レッド
龍のように高く高くのぼれ 炎のように熱くなれ レッドウィングス
○イエロー
みんな笑顔でパワフル全開 絆を深めろ イエローサンダーホース



2014年4月23日(木)

一年間の成長
今日、2年生が1年生の手を引いて、学校探検をがんばりました。一生懸命1年生のお世話をし、説明をしている2年生。そういえば、去年の今頃はこの子たちが今の3年生に手を引かれ校内を回っていたこと、その様子を思い出し、あらためて、子ども達の1年間の成長の大きさを思いました。